新着図書の紹介①

『イラストでわかる
生活動作と読み書き支援』

編集：鴨下賢一・岩﨑清隆
出版社：青海社

生活指導として食事や着替え、排泄動作を通じた身辺自立や上肢機能の発達の促し方と、読み書き支援について述べている。生活指導を通じて自尊感情の発達を促すことや、読み書きに関しても意味のある文字や文章を書くことを目的としており、子どもが成長して社会に出るときに役立つ基礎の力が促せる内容になっている。

『対人マナーを身につけるためのワークブック
―学校では教えてくれない
困っている子どもを支える
認知ソーシャルトレーニング―』
著者：宮口幸治・井阪幸恵
出版社：明石書店

学校教育等で幅広く使われ始めているコグトレを、子どもが一人でも取り組めるように構成したもの。小学生の姉弟の1日に起こる出来事を通して、あいさつや言葉づかい、友達づきあいや学校生活のマナーを学んでいく展開になっている。

『発達が気になる子の学校生活における合理的配慮
教師が活用できる／
親も知っておきたい』
著者：鴨下賢一他
出版社：中央法規

「なぜこんな簡単なことができないの?」と思う場面でも、子どもにはそれぞれ原因や理由がある。作業療法の観点から、学習上のハンディをもつ子どもたちに対して、等しく教育の機会を得られるような工夫や環境の配慮を学校生活の81場面ごとにイラストで具体的に提案する。

『発達障害の人の
就労アセスメントツール』
監修：梅永雄二
出版社：合同出版

国際的に信頼性が高い障害者の就労スキルを評価するツール「BWAP2」について紹介。仕事のハードスキル(作業能力)だけではなく、ソフトスキル(身だしなみや時間管理、人とのコミュニケーション能力など)が把握でき、発達障害者の課題を見出せるツールである。

新着図書の紹介②

『場面緘黙の子どものアセスメントと支援
心理師・教師・保護者のための
ガイドブック』
著者：エイミー・コトルバ
出版社：遠見書房

場面緘黙の子どもたちへのケアとアセスメントのための本。行動療法を中心に据えながら、親子相互交流療法、動機づけ面接法、マインドフルネストレーニングなども導入するもので、支援の場で実際に利用できるツールもたくさん掲載している。

『やさしくわかる! 愛着障害理解を
深め、支援の基本を押さえる』
著者：米澤好史
出版社：ほんの森出版

「愛着障害を発達障害と誤解して、発達障害への支援をしても改善しない。」「愛着の問題を愛情不足と誤解して、愛情を注ぐことでかえって行動の問題を増幅してしまう」などの愛着障害のさまざまな誤解を解き、現場ベースの理論と支援方法を解説する。

『新学習指導要領を踏まえた「学習評価」の工夫』
著者：武富博文・増田謙太郎
出版社：ジアース教育新社

学習指導要領改訂のポイントとなる資質・能力の3つの柱の育みを見取るために必要な観点別学習状況の評価の3観点に着目し、着実な育成を見定めるための具体的な工夫やアイディアについて実践・検証し、まとめた。評価規準の作成やルーブリック評価表の活用などの「指導と評価の一体化」に関する情報も参考にしたい。

『特別支援教育における3観点の「学習評価」
【各教科・段階別】通知表の
文例集と記入例』
監修：宮﨑英憲
出版社：明治図書

「学習指導要領に即した評価とは何か」という特別支援教育における資質・能力を育む評価の在り方について解説している。「個別の指導計画を生かした『評価』文例」について、学習指導要領に即して、各教科での指導計画と評価を具体的な学習や指導の改善に生かせるよう示している。